

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 19-007

PDCA	事務事業名	放課後児童健全育成事業	部課等名	健康子ども部 子育て支援課 育成担当	担当	森本	
					内線等	407	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第2章 子育てと暮らしを地域で支え合うまち					
		節： 第1節 子育て・子育て支援の推進					
		基本施策： 1. 子育て・子育て支援					
		単位施策： (2) 子どもの健やかな育ちへの支援					
	根拠法令等	半田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、半田市放課後					
	対象・目的	保護者が仕事等により昼間家庭にいない小学生等に対し、放課後に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成をはかる。					
	目的を達成するための手段・活動内容	NPO法人等民間団体に事業を委託して運営。事業の着実な推進のため、事業実施に必要な施設の土地及び家賃の家賃を補助するほか、施設整備費等の補助、保育料の補助(課税状況別補助及び多子世帯補助)を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績		28年度	29年度	30年度	単位
		①放課後児童健全育成事業委託件数		18	19	19	か所
		②入所児童奨励費(補助金)支給件数		126	127	585	件
		③					
		事業費		155,512	183,227	227,097	千円
		人件費		8,894	7,701	9,426	千円
		総事業費		164,406	190,928	236,523	千円
		活動単位当たりのコスト		28年度	29年度	30年度	単位
		①児童1人当たりに要した費用(総事業費)		232,212	239,558	285,656	円
	②クラブ1箇所当たりに要した費用(総事業費)		9,134	10,049	12,449	千円	
	③						
	成 果	成果指標		28年度	29年度	30年度	単位
		①クラブの登録児童数	実績値	708	797	828	人
			目標値	724	798	879	
②クラブ数		実績値	18	19	19	か所	
		目標値	18	18	19		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ない
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある		
		③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない	⑧受益者負担適正化余地	ない
	事業の評価・課題	A					
		発達障がいのある児童の受け入れ需要の増加に対応するため、支援員を対象に障がい特性を理解するための研修を行い資質の向上を図った。また、入所児童奨励費を見直し、課税状況別補助を新設するとともに多子世帯への補助を拡充し、利用者の負担軽減を図ることで、利用しやすい環境づくりを行った。今後は市内民間事業所の保育料等利用料金の見直しや、学校敷地内での公設民営化を推進することが課題となる。					
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	拡充推進				
			児童の受け入れ需要の増加への対応と児童の移動の安全確保のため、放課後児童クラブ施設の学校敷地内での設置を推進する。また、保護者の経済的負担感を軽減するため、保育料等保護者負担を見直す必要がある。引き続き、民間事業所との協働・連携のもと、児童に放課後の安心安全な居場所を提供し、学齢期の子どもの発達を保障し健全育成に努めていくとともに、「小1の壁」の解消や、子育て中の保護者の就労支援を図る。				
		令和元年度の目標	成果指標		目標値	単位	
			①クラブの登録児童数		935	人	
	②クラブ数		21	か所			